

(第3種郵便物認可)

「オーライ!ニッポン大賞」受賞

「農山村ボランティア」派遣

鳥大OBらの「学生人材バンク」 NPO法人

鳥取大学OBらでつくるNPO法人「学生人材バンク」(鳥取市湖山町南一丁目)が、都市と農山村の交流に貢献した活動を表彰する「オーライ!ニッポン大賞」(農林水産省など主催)の大賞に選ばれた。大学生ボランティアを支援し、農村の活性化を目指す取り組みが評価された。関係者は「学生が活動に自信を持った」と喜んでいる。

ニッポン大賞では、二〇頭町)が審査委員長賞を〇六年にNPO法人「新田 受賞したが、大賞は県内でむらづくり運営委員会(智 初めて。全国九十八件の応



地元の人たちと田んぼでバレーボールを楽しんだ学生たち
|| 智頭町内

過疎化集落の田植えなど 農地保全を支援

募から大賞四件が選ばれた。三月十一日に東京で表彰される。

学生人材バンクは、田中玄洋代表(二九)が鳥取大在学中の二〇〇二年に立ち上げた。県内の大学生にボランティアやアルバイトなどの情報をメール配信したり、地域活性化を目指すイベントなどを企画。現在は約八百五十人の学生が登録している。

ニッポン大賞で評価されたのは、学生を「農山村ボランティア」として派遣する事業だ。登録会員からボランティアを募り、一緒に過疎化の集落を訪ね、棚田での田植えや水路の掃除、イノシシ被害を防ぐ柵の設置など農地保全を支援してきた。本年度の参加者は延べ五百人以上という。

また、集落の人たちと一緒に催しを企画。田んぼでバレーボール大会を開いたり、農家での体験宿泊を試みた。

活動を通して農村の情報を集め、十六集落を紹介した冊子「農村16きっぷ」を創刊。年二回、計四千部の発行を続け、現在は二十六集落を紹介するまで活動を広げた。

田中代表は「大学で学べない生の現場に触れることが、学生には大きな刺激。人と接する楽しさを感じ、それが継続につながっている」と説明。受賞について「学生の励みになった。活動を積み重ねることが大切」と話している。